

JGN II イベント利用報告書

- 1 イベント名 「東海 JGN II 通信放送シンポジウム」
(イベント番号 110)
- 2 申請者 東海総合通信局

3 イベントの概要

(1) 目的

本シンポジウムは、東海総合通信局及び東海 JGN II 推進協議会等が主体となり、東海地域における情報通信技術者、放送技術者及び電気通信事業者が、通信と放送の融合に関する、技術的な課題についての意見交換や知識の共有を行い、新たな交流関係を創造するもの。

また、本シンポジウムの模様について、JGN II を利用した IPv6 マルチキャストによる HD 映像伝送実験を通じ、シンポジウム会場から全国に HD 映像を配信することにより、多くの方に高品質な映像をご覧いただくことを目的とした。

(2) 主催者等

- 主催： 東海総合通信局、東海 JGN II 推進協議会
- 協賛： 独立行政法人情報通信研究機構

(3) 日時： 平成 17 年 12 月 21 日(水) 時間： 13:00～16:4

(4) 場所： メルパルク名古屋 平安の間

(5) 内容

テーマを「通信・放送技術の融合と協調」として、以下の内容で実施した。

特別講演 「JGN II ネットワークの現状と課題」
東海総合通信局長 鈴木 薫

【第 1 部】

講師：倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部
ソフトウェア学科 教授 小林 和真氏
「JGN II を活用した通信と放送技術の融合と協調」

【第 2 部】

講師：ソフトバンクBB株式会社 接続企画本部
担当部長 石原 篤氏

「インターネット放送の今後の普及について」

【第3部】

「通信・放送技術の融合と協調」をテーマとしたパネルディスカッション
～JGNⅡネットワークが可能とする映像伝送の世界～

コーディネーター：

名古屋大学 情報連携基盤センター 助教授 河口 信夫 氏

パネリスト：

広島大学 情報メディア教育研究センター

教授 相原 玲二 氏（遠隔参加）

倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部

ソフトウェア学科 教授 小林 和真 氏

ソフトバンクBB(株)

接続企画本部 石原 篤 氏

東海テレビ放送(株)

デジタル推進室副部長 田島 誠 氏

独立行政法人情報通信研究機構

テストベッド推進室長 豊田 麻子 氏

4 JGN II 利用の概要

今回のイベントでは、JGN2のVLANを2つ利用した。

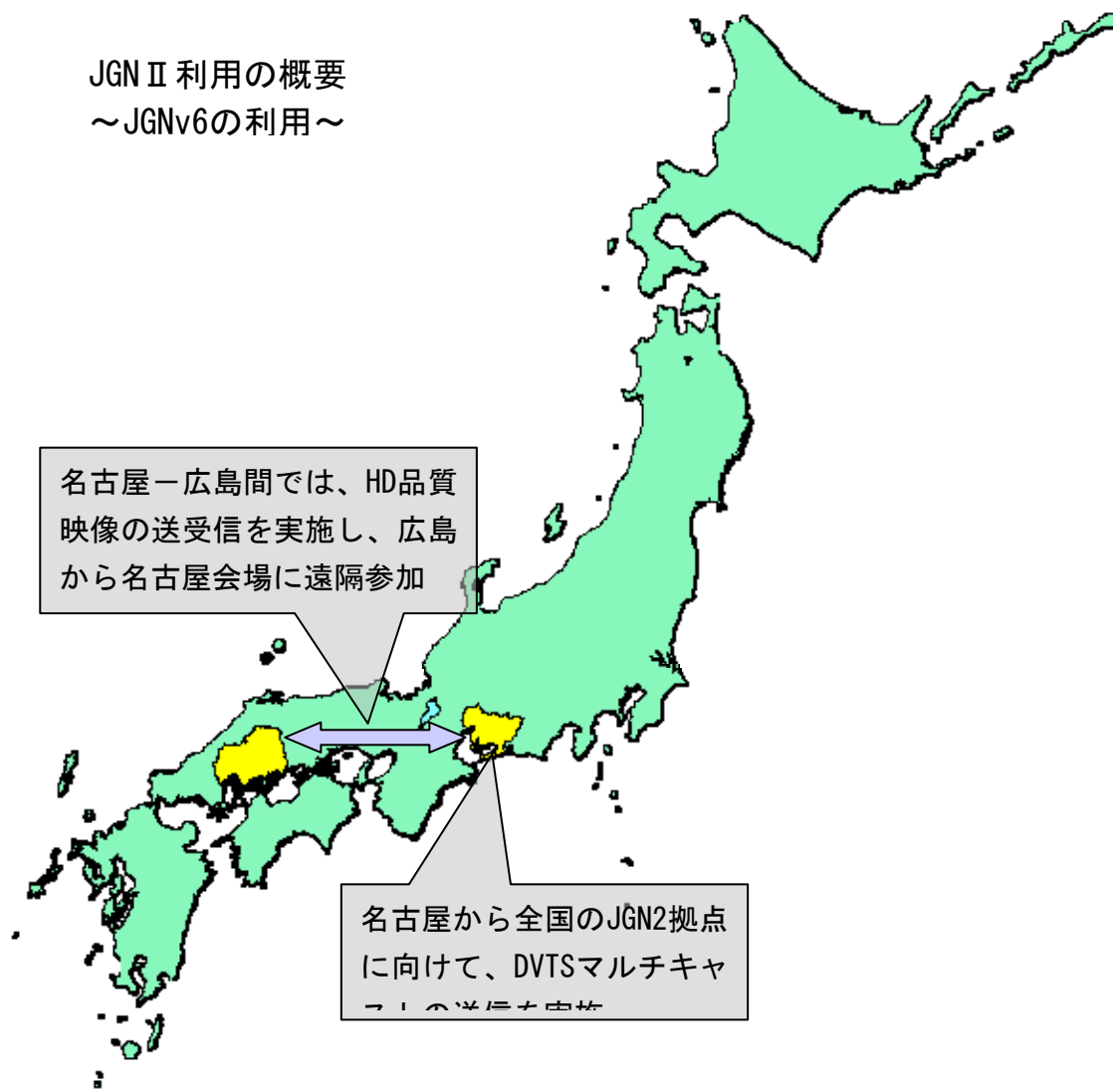
一つのVLANはJGNv6に接続し、広島大学とのHD映像伝送及びDVTSによる映像伝送に利用した。

もう一つは東海地域のJGN2拠点を結ぶ「東海地域におけるコミュニティネットワークの研究開発」

に用いているVLANであり、このVLANにより名古屋大学に接続。

名古屋大学構内のシステムを利用してXCASTによる多地点会議を実施し、会場内の模様を発信するとともに、遠隔からの参加を行った。

JGN II 利用の概要 ～JGNv6の利用～



5 参加人数

130名

6 評価

予定より多くの参加者があり、最後まで参加していた方がほとんどで、講演や、パネルディスカッションの内容をメモする人の多くみられた。

また、JGN IIについても詳細な説明等を行うことにより、その内容等に関してよくご理解いただけたものと考えている。しかし、会場は、100名規模を想定していたので、かなり狭い状況になったとともに、会場準備に多くの時間を要したことは反省材料にあげられる。とくにNTTと契約して利用した足回り回線も、当日準備中にトラブルがあり、事前確認の重要性を感じた。

今後は、回線の準備など、充分余裕をみる必要があると感じた。

7 参考(会場写真)



